

# 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

## 事業名 博物館環境整備事業費（長寿命化計画外）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

環境生活部県民文化局 博物館 総務部管理調整係 電話番号：0575-28-3111(内250)

E-mail：c21804@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,357 千円 （前年度予算額： 0 千円）

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	5,357	0	0	0	0	0	0	0	5,357
決定額									

## 2 要 求 内 容

### （1）要求の趣旨（現状と課題）

岐阜県博物館は、令和4年に開館46年を迎え、建物・設備の老朽化が進行している。長期間使用した設備は機能が著しく低下しており、資料整理に関わる施設（簡易ガス燻蒸施設（外部から搬入した資料を収蔵庫に収納するため、殺虫殺菌する機器）、石工室（化石等の資料化を行う部屋））も老朽化が深刻であり、ガスの漏出や粉じんの飛散等の事故による来館者や職員の健康被害が起こる可能性や、所蔵品の適切な管理に支障をきたす可能性が危惧される状況である。

加えて、これまでに収集した資料は約143千件に達し、自然史資料を中心に、毎年、数千件の登録資料が増加している。資料の増加に伴い、各収蔵庫の使用率が約9割に達しており、具体的な対策を講じなければ、岐阜の魅力を高める資料の収集が困難な状況に直面し、これらが他地域へ流出する恐れがある。この点について、令和3年度包括外部監査において、『岐阜県博物館における資料保管のため、展示履歴の低い収蔵物の売却等の処分のほか、整理方法の工夫など具体的な対策を検討すべきである。』との指摘を受けている。

本事業では、3年程度の整備を計画し、収蔵品を適切に管理し、展示環境の改善、向上を図るために必要な費用の要求を行う。

### （2）事業内容

資料整理に関わる機器等の更新  
収蔵環境の改善

### （3）県負担・補助率の考え方

県単独事業として実施

### （4）類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品	1,300	収蔵庫整理等
修繕料	500	石工室の空調整備
委託料	600	不要物の廃棄
備品購入費	2,957	収蔵庫整理等
合計	5,357	

#### 決定額の考え方

--

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

老朽設備の更新等を実施し、貴重な収蔵品を適切に管理できる環境を整えることで、ふるさとの宝を増やし、博物館の魅力を高める。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
博物館入館者数 (館外事業の利用者含む)	249,375	82,205	200,000	200,000	200,000	41%

※令和3年度はコロナ感染拡大防止のため、一時休館、イベント等を休止としたため、入荷者数が減少。

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	人文展示室内の映像コーナーの改修や人文展示室内の照明取替工事等により、人文展示室内の展示環境が整い、質の高い展示を行うことができる。
	指標① 目標：200,000 実績：73,784 達成率：36.8%
令和3年度	展示ケースの更新によって、資料の適切な管理が可能となり、質の高い展示を行うことができる。LED照明については、今年度特別展においてその効果を発揮している。
	指標① 目標：200,000 実績：82,205 達成率：41.1%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ <b>事業の必要性</b> (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)            3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>資料整理に関わる機器等の老朽化が進み、職員や来館者の安全の確保、収蔵品の適切な管理が容易ではなく、今後の作業効率の向上を図るためにも作業環境の設備を整えることが急務である。安全で安心な作業環境をつくることで展示作業効率もあがり、サービスの質の向上にもつながる。</p>
<p>・ <b>事業の有効性</b> (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)            3 : 期待以上の成果あり            2 : 期待どおりの成果あり            1 : 期待どおりの成果が得られていない            0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>展示ケースには、資料保護およびセキュリティの観点からも安全な資料展示が可能で、より充実した展示の開催が見込める。LED照明については、展示資料への影響を抑えつつ、光量等の調整によって効果的な展示を図ることが可能となっている。</p>
<p>・ <b>事業の効率性</b> (事業の実施方法の効率化は図られているか)            2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価) 2	<p>LED照明の導入によって、よりよい環境下での資料展示を来館者に提供することができた。</p>

### (今後の課題)

<p>・ <b>事業が直面する課題や改善が必要な事項</b>            老朽施設の更新においては、適切な設備を導入するために日頃から情報収集を行う必要がある。また、簡易ガス燻蒸機器の部品交換は、コロナ禍やウクライナ情勢が原因で電子機器の調達が困難な状況である。</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>・ <b>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b>            更新した設備等を活用し、ふるさとの魅力を高めるための良質な資料を収集・展示し来館者等に発信することで、博物館の魅力の向上を図る必要がある。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	